

衆議院議員(立憲民主党・代表代行)

神奈川県選出/青葉区・緑区・都筑区 佐田東町・佐田南町  
佐田東・佐田南・大丸

# 江田けんじ



しがらみのない政治家にしか  
本当の改革はできない!

- ◆ 1956 (昭和31) 年4月28日生 岡山県出身 ◆ 東京大学法学部卒。
- ◆ 旧通産省、ハーバード大学国際問題研究所、通産大臣秘書官、首相秘書官。
- ◆ 退官後、桐蔭横浜大学客員教授等を経て、衆議院議員6期
- ◆ 家族 妻 二人の子供 (高校生と中学生) 子育て真っ最中!
- ◆ 趣味 温泉/旅行/食べ歩き/スポーツ観戦 (国際試合)
- ◆ テレビ・マスコミ出演多数 (コメンテーター等)  
「日曜討論」「スッキリ!」「サンデージャポン」「TVタックル」  
「サンデープロジェクト」「報道2001」「朝まで生テレビ」他

政治家として

若者が夢を実現でき

お年寄りが長生きしてよかった

と言っていただけ **国をつくりたい!**

明治維新以来、「欧米に追いつけ! 追いこせ!」の時代には機能した「中央集権体制」と「大規模集中型システム」が、今や限界に来ています。「成熟国家」になった日本は、時計の針を巻き戻し、「集権」から「分権」へ、「集中」から「分散」へと国のかたちを変え、人への投資と、地域のことは地域で決める、「人と地域が主役の国造り」をしていく必要があります。

## I. 「地域分散・分権型 経済社会」の実現を!

電気・エネルギー、医療・介護・福祉、農業等を「地産地消」の小規模分散型にし、地域ネットワーク化。そのための権限、財源を国から地域へ移譲。中央と地方の格差是正も図る。

## II. 「人財立国」で未来を切り拓く!

教育・子育て、医療・介護・年金等の「人への投資」に税金を重点配分し、「人生一生安心システム」を実現。同時に、それを通じて「ふところ(家計)」を温め、消費を喚起することで、本格的な景気回復にもつなげる。

## III. 原発ゼロで「自然エネルギー立国」を!

原発ゼロの壁を打ち破る「技術革新」で、太陽光・風力・小規模水力等を主要エネルギーに。

## IV. 専守防衛に徹し「平和国家日本」を守る!

ただし、北朝鮮や中国の脅威には万全!(日米同盟の強化/自衛隊と海上保安庁の連携で離島・沿岸警備/周辺事態法の整備等)。

## V. 議員や官僚が「身を切る改革」!

議員定数の削減や給与カット、しがらみを絶つ「企業・団体献金」や「天下りの禁止」を断行。



こんな政治家は  
他にはいない!

政治姿勢1

政治腐敗の元、**企業・団体献金は1円も受け取らない!**

政治姿勢2

改革を阻む、**利権・圧力団体からの組織的支援も受けない!**

政治姿勢3

自民党に対抗しうる **政権交代可能な一大勢力を結集する!**

ライバルとなる政党をつくり、互いに競争して切磋琢磨し、緊張感のある政治にしないと、決して国民を向いた政治は実現しません。

# 波乱万丈！放浪、落選、山あり谷ありの政治家人生！

## 政治・行政経験40年！それに裏打ちされた政策立案・政局対応

### 略歴1 通商産業省(現経済産業省)～総理秘書官

#### 通商産業省(現経済産業省) 入省 (1979年)

当時は「政治は三流だが官僚が一流だから日本はもっている」(桜田武日経連会長)と言われた時代。「国民のためなら官僚」ということで入省。ただし、20代の頃は月200時間の残業で手当はたったの2万円。サービス残業の極致。海部・宮澤内閣(官邸)にも出向(総理演説・国会担当)し、湾岸戦争への対応、PKO(国連平和維持活動)協力法、上皇陛下の「即位の礼」等に従事。

#### 米ハーバード大学国際問題研究所に留学(特別研究員/1987年～88年)

あの「ジャパン・アズ・ナンバーワン」のエズラ・ヴォーゲル教授に師事。良くも悪くも、米国の懐の深さ、草の根民主主義を学ぶ。全米をバックパッカーついで旅行も。目からうろこが百枚落ちる。その時のルームメイトがオバマ政権の大統領補佐官、USTR(米国通商代表部)代表に。

#### 橋本内閣発足に伴い総理大臣秘書官(政治・行革担当)に就任(1996年)

「橋本六大改革」など中央省庁の再編(政治主導の強化等)や財政構造改革を推進。沖縄・普天間飛行場の返還やロシアとの北方領土交渉等にも従事。特に、大蔵改革や郵政民営化等をめぐって族議員や官僚と激しく渡り合う。この時の経験が政治家としての原点となる。

総理秘書官時代



エズラ・ボーゲル教授と



南の島で人生をリセット



桐蔭横浜大で教鞭

### 略歴2 「天下の素浪人」? 南の島に渡り、放浪生活

橋本内閣総辞職に伴い通産省には戻らず、首相官邸にて退職(1998年)。改革に反対する先輩官僚や政治家の醜い姿を見て失望。42歳。ちょうど折返し地点で「人生をリセット」。

500\$ で買ったオンボロ車とパソコン一台で6か所を転々とする放浪の生活。起きたい時に起き寝たい時に寝る「晴泳雨読」「何もしない贅沢」を満喫。ただ唯一、自らに「橋本政権の総括」を課し執筆活動。「誰のせいで改革を失うのか」(新潮社)を出版。以後、著書多数。

### 略歴3 たった一人の純粹無所属から「政界再編」へ

初出馬の落選を通じ、自民党の「しがらみ選挙」を嫌というほど味わう。この時の経験が今の江田けんじの政治姿勢(一面参照)の原点。2002年、無所属で自民、民主の候補を破り初当選。この時から一貫して、理念や基本政策を軸とした「政界再編」を訴え続け、それを実践。政党を渡り歩いているのではなく、「みんなの党」(2009年/幹事長)→「結いの党」(2013年/代表)→「維新の党」(2014年/代表)→「民進党」(2016年/代表代行)と次々に自らが政党を結成。2017年秋の総選挙では、「排除の論理」で野党が分断される中、原点に立ち返り「無所属」で出馬。119,280票を頂き、小選挙区で六度目の当選。2020年、立憲民主党結成に参画。代表代行に就任。



予算委員会で総理と論戦



『誰のせいで改革を失うのか』  
官邸発国家改造  
総理秘書官の国造り論  
新潮社/一九九九年



『首相官邸』  
総理大臣のオフィスの  
住人とその内部とは?  
文芸春秋/二〇〇二年



『愚直の信念』  
官僚国家への最後通牒  
江田けんじを知る決定版  
PHP研究所/二〇〇九年



『財務省のマインドコントロール』  
増税をたくらむ財務省の  
恐ろしい手口  
官僚の大嘘に騙されるな!  
幻冬舎/二〇一二年



『政界再編』  
来るべき再編に向けて動き  
出した著者がその不退転の  
決意について緊急刊行  
角川書店/二〇一四年

是非Instagramをチェックしてくださいね!

【エダケンno日々是好日】

江田けんじの活動の一コマ。意外な素顔!



【グルマン江田の食べ歩き】

青葉区・緑区・都筑区の美味しいお店を紹介!



【facebook公式ID】

日々の政治活動の報告や時事問題にコメント!

お気軽に友達申請してくださいね!

立憲民主党神奈川県第8区総支部 (衆議院議員 江田けんじ事務所)

〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-9-30

TEL: 045-989-3911/FAX: 045-989-3912

HP: http://www.eda-k.net / Mail: edamame@eda-k.net



【討議資料】